

## ユニット11 審査総評

### 産業・公共用の空間・建築・施設／産業・公共用空間向けの建設工法

産業用の空間・建築・施設／産業用空間向けの工法／公共用の空間・建築・施設／公共用空間向けの工法



審査ユニット長 安田 幸一 (建築家・東京工業大学大学院教授)

深澤審査委員長から出された今年のグッドデザイン賞の指標は「心地」の質である。まさに建築や環境のデザインには、居心地、住み心地などは最も重要なキーワードであるのだが、単純にその「心地」を統一した尺度で言い表すことは難しい。特に建築の分野が他のユニットのデザインと大きく異なっているのは、一品生産であるということだ。それぞれの建築が建っている土地の形状も気候も千差万別で、建築の数だけ土地の性格が異なっている。また、プログラムも全く同じものはほとんど存在しない。すなわち建築は一つ一つが全く異なる条件の上に成立しているため、比較することは不可能である。建築の「心地」は、その土地が持っている最も核心的なもの、他にない固有なものをいかに吸い上げているかがポイントとなってくる。それは単に固有なものを追求すれば良いわけではなく、つまり独りよがりのものではなく、社会の中で活用できる価値を垣間見せてくれるものであってほしい。

今年の産業・公共用領域での応募は、オフィス、工場、商業施設など多岐に渡ったが、特に大学・幼稚園等の教育施設、美術館・図書館等の文化施設、保存改修などの応募が多かった。その中で入選に至ったものは、主題を絞り込んで、かつ「深く」掘り下げたものである。これらのテーマは、サステナビリティに関する新しい考え方を提唱したもの、安全安心の新しい考え方を示唆するもの、建築ストックの保存再生についての新しい手法を見せてくれたもの、教育施設のあり方についてその土地が保有する性格から固有のアイデアを引き出したもの、地場産業と密接に結びついたデザインにつながっていったものなどが例として挙げられる。振り返ってみると、良くできた質の高い建築も当然その価値は高いが、建築的な納まりがたとえ未熟であっても新しい手法を見出そうとしているものが高い評価を得たように感じる。一方、オーソドックスな手法ではあるが、提案内容のバランスが群を抜いているものも評価が高かった。特に環境に関する提案では、ある程度成熟した環境装置を並べただけでは十分な評価は得られなかった。

空間や建築はその土地と切り離して考えることはできない。星の数ほどある事例があるにもかかわらず、まだまだ新しいグッドデザインの可能性が今後も発見されることを信じてやまない。

2014

[年度を選択](#)[特別賞を選択](#)[詳細検索を表示](#)

GOOD DESIGN AWARD | グッドデザイン賞


[ツイート](#)

|       |   |
|-------|---|
| 受賞対象名 | 朝霞浜崎団地大規模改修 [アーバンフォレスト朝霞浜崎団地 バリューアップ計画]                       |
| 事業主体名 | 独立行政法人都市再生機構 埼玉地域支社   |
| 分類    | 公共用の空間・建築・施設  |
| 受賞企業  | 独立行政法人都市再生機構 (神奈川県)<br>株式会社スタジオハンデザイン (東京都)<br>三和建装株式会社 (東京都) |
| 受賞番号  | 14G110929   |

**受賞対象の概要** ※掲載している情報は、受賞当時の情報のため、現在は異なる場合があります。

**概要** 住む人を主役にしたデザインによる団地の住環境再生計画。首都通勤圏の朝霞市、築38年975戸のUR賃貸住宅は保育園や店舗、緑地等を含む一街区を成す。現在住むのは、高齢者、子育て世代、独身世帯と多様。URとデザイナー、アーティストが協働し、住民の方々の生活動線を包む居心地良い愛着の持てる住環境に再生した。特に街区や住棟の共用部全体を軸に、統一的なコンセプトで団地特有の均質性ゆえの疎外感を払拭し、住む人の日々の生活環境に相応しいIdentityと豊かな表情を付加した。単なる改修に留まらずトータルなデザインによって団地の「裏」を「表」に転化させ価値化した。今、団地に棲む新たな魅力を発見してもらいたい。

**プロデューサー** 独立行政法人都市再生機構 埼玉地域支社

**ディレクター** 株式会社 스튜디오ハンデザイン 代表取締役 韓垂由美

**デザイナー** 全体計画・デザイン：株式会社スタジオハンデザイン 韓垂由美、金光望 + イラストレーション：株式会社 KABWA 黒田潔 + サイン計画：株式会社ネウシトラ 刈谷悠三、角田奈央



**詳細情報** [http://www.ur-net.go.jp/akiya/saitama/value\\_up/asakahamasaki/](http://www.ur-net.go.jp/akiya/saitama/value_up/asakahamasaki/)

**随時募集** 2014年3月

**価格** 48,300 ~ 77,600円 (※価格は募集賃料,1K/1DK[31㎡]~1LDK/2DK[42~43㎡])

**販売地域** 日本国内向け

**設置場所** 埼玉県朝霞市朝志ヶ丘1-2

**仕様** 構造:鉄骨鉄筋コンクリート造 階数:1号棟:15階建て/2号棟:11階建て/3号棟:10階建て 住棟形式:ツインコリダー型住棟 竣工年月:1976年1月 敷地面積:約2.6ha 総戸数:975戸 (賃貸住宅)

### 受賞対象の詳細

**背景** URが所有/管理する70年代の賃貸団地のストック活用として、今回、住棟の大規模改修を機にデザイナーやアーティストを登用し、ハードのコストを抑制しつつ従来手法にとらわれない自由な方法論を探った。住む人が愛着を持ち、「友だちや彼女を呼べる」ように、斬新で洗練されたデザインによる団地再生を目指した。

**デザインコンセプト** 「URBAN FOREST/団地は森」首都圏かつ武蔵野の面影ある地域に森の豊かさと共生をイメージ

**企画・開発の意義** 今回、経年劣化と無関心で疲弊した負の状況を、生活動線とコミュニケーション機会を活性化する commons 的発想で団地住民の自己イメージの変革を促し、住環境への関心とプライド醸成を図った。森の生態系が多様な生命の相互関係によってバランスを保ち豊かさを持続させるように。

**創意工夫** どれも均質な団地の空間を豊かな森のイメージで大転換させるため、ディテールは繊細で有機的なアート表現を用いながら、全体はシステムティックな空間構成で統一感を貫いた。フロア毎に住人がアイデンティティを感じられるよう外壁・内壁の塗装について綿密な色彩計画を行い、住棟内のあちこちに森の世界観でアーティストの描く各階固有の動植物のイラストを配置した。それが日々の生活動線の中に物語性を生み、出会いある風景を作る。進入禁止や落下防止の柵は、デザインフェンスを用い逆にアクセントに。住棟エントランスは、玄関に相応しい洗練されたデザインで、パブリック

クとプライベートの境界として位置づけた。オリジナルのロゴやサインなどが空間全体に整然とした統一感を高め引き締めている。居住中の工事であるため、コンセプトの理解と完成後の期待感を高める工事中景：仮設物デザインやワークショップにも取り組んだ。

#### デザイナーの想い

私自身、団地の高層階に住んだ経験がある。寝食の基盤で家族生活の舞台である住環境の影響は計り知れず大きい。コンクリートの箱の均質なマス目の中で、思春期の私は無力感を感じることもあった。一方、人間的な居心地の良い環境は人を包容し、人はそこに会いや活動の場を築き共感や愛着を育む。そんな風に、現代の団地をコモンズとして、多様性の受け皿、子ども達の原風景としてデザインした。（韓）

どこで購入できるか、  
どこで見られるか

UR都市機構 朝霞浜崎団地 埼玉県朝霞市朝志ヶ丘1-2  
2014年春、ここにしかない森:アーバンフォレスト

#### 審査委員の評価

高層団地の外観と住棟内吹抜に施されたグラデーションなカラーリングとグラフィックが楽しい。標準的な団地住棟を対象にした個性と魅力を見いだせるリノベーションモデルとしての質が評価された。

担当審査委員 | 安田 幸一（ユニット長） 高橋 晶子 廣村 正彰 山梨 知彦



This Work by JDP is licensed under a [Creative Commons Attribution-NonCommercial-NoDerivs 2.1 Japan License](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/2.1/ja/).  
Permissions beyond the scope of this license may be available at [www.g-mark.org](http://www.g-mark.org).  
このページに掲載している情報は「クリエイティブ・コモンズ」〈表示・改変禁止〉日版ライセンス2.1で公開されています。  
このページの情報を二次利用する際には必ず[こちら](#)をご覧ください。

グッドデザイン賞は公益財団法人日本デザイン振興会が運営しています。

[サイト利用条件](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [クリエイティブ・コモンズについて](#)